

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	1-4-1		事業名	商業決済基盤を活用したコミュニティビジネスモデル支援事業
担当	経済局産業振興部産業企画課 一橋 211-2379			
全体計画（当初）				
事業内容	商業決済基盤を活用したコミュニティビジネスのモデル事業に対する補助を行なう。 サッポロシティカードにおけるポイントの流通システムは、コミュニティビジネスを実施する上でのキーデバイスとして有効な活用が見込まれている。 札幌においては商店街や町内会などコミュニティそれぞれが人口構成や立地、規模の面で千差万別であるが、幾つかのモデル地域でビジネスモデルの実験を行いそれらを実運用モデルとして育成することによりコミュニティビジネス産業の検証を行う。なおその際の決済手段ならびに顧客管理にはサッポロシティカードを活用し地域間での財の循環もあわせて実証する。 大学と近隣商業地域などモデル地域を設定し、コミュニティビジネスを題材とした地域活性化モデル事業の支援を行なう。		＜年度別の事業内容＞	
			<p>平成16年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICカードシステム管理及び公共システムとの接続検討 ・IT CITY推進協議会への負担金 <p>平成17年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネスモデル事業に対する補助金 	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	<p>札幌CITY CARDの実証実験に伴う運用業務についての実績により、利用状況を把握した。また、札幌CITY CARDを利用した地域商業者の事業展開について、今後の動向を踏まえたビジネスプランとして、公共交通との連携モデル、IDカードとの一体化を想定し、収益モデル等を検証した。</p> <p>運用管理・保守管理 運用センター、サービスカウンター、問合せセンターの運営及びシステムの保守管理を実施した。</p> <p>システム改修 札幌CITY CARDの多目的利用実現のため、普及が期待されている非接触式ICカード対応へ店舗端末の改修を実施した。</p> <p>連携調査 地域商業者の事業展開について、現状の技術動向などを含めた将来展開の調査を実施した。</p>		<p>札幌CITY CARD、カード読取端末、ポイント・電子マネーシステムから構成される「共通決済基盤」を活用した、スモールエリアで展開するポイントサービスの実証実験を実施する。</p> <p>また、現在検討されている交通ICカード（地下鉄）との連携について、地元商業者を巻き込んだ地域カードを推進するための商業者側の連携モデル開発、折衝、調整について、札幌市IT CITY推進協議会との連携により推進する。</p> <p>札幌CITY CARDを活用した顧客誘導効果の実証事業 個店ポイントカード、学生証などとICカードの一体化実験を行うことで、近隣商店街や個店へ顧客誘導を促進するモデルを検証する。</p> <p>札幌IT CITY推進協議会への負担金 電子商取引の推進を図り、ICカード等による地域サービスの充実化を図ることを目的として活動する協議会への負担金。</p>	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	<p>予算措置なし。 交通ICカードと商業サービスとの連携について地域商業者との検討を進める。</p>		<p>15年度までに札幌CITY CARD、カード読取端末、ポイント・電子マネーシステムから構成される「共通決済基盤」を構築し、16年度以降は当基盤システムの活用について商業者と協働で事業を実施してきた。16年度でICカードの商業活用について実証を行い、17年度でICカードの多面展開について実証を行った。これら培われたノウハウは20年度に交通局が検討している交通カードと連携するにあたって十分に活用されており、これが実現すればICカードの利便性は格段に向上することから本事業は評価できると考える。</p> <p style="text-align: center;">課 題</p> <p>ICカードによる商業サービスモデルの実証結果をもとに、今後導入が検討されている交通ICカードとの連携について、交通局・市民まちづくり局・JR・商業者等と検討を進め、利便性の高い地域カードの導入を目指す必要がある。</p>	
19年度以降の方向性（事業予定）				
<p>地域商業者（地元クレジットカード6社協議会、地場金融機関、札幌商工会議所、札幌市商店街振興組合連合会）による「札幌圏公共交通ICカード商業活用モデル研究会」と連動し、地元商業者等が、小額決済サービスやクレジット決済で連携できる枠組み作りの検討を進める。</p>				

